東 氏 弟 3 万					-		****	4.4.7.1.2.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1												
事業コー		876			課コード	0705		会計種	引 一般	会計			予算0	7種類 ■	■政策	■経常	□なし			
1. 事業の	D概要(PLAN)																			
		①事業名			北土地区画整理 土地区画整理事			計画への	• 7	有 〇無		②部課名	都市部・市街地整備課							
		③事業主体	●市	○その他		未の推進) ④対象		■我孫子	口天王台	□湖北	 比 □新木 □布佐 □全ī						
(1)事業概要		⑤事業期間	平成31年度 ~							職員数			5 人	(換算人数		1.75 人)				
(1) 宇术彻实		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		17, 9	900,000 千円			当該((開始)年度	(当 初) 300,180 千円 (うち人件費 15,225 千円									
			施策 重点プロジェクト チャル							計画地区別	(変更後)		千円	(うち人件費 部門別計画への		千円)				
		⑧施策の位置づけ	プ コード 61003 への位置づけ 単点なし							の位置づけ										
(2)目的		施策目的 · 展開方向				地区の特性をいかしながら、地区計画や土地区画整理事業など 。また、施行中の我孫子駅前土地区画整理事業と布佐駅南側ま								∵整備するため、± i業圏の拡大を図る		業を施行する。	市の中心市街			
(-/ H M J		展開力 門	は、								を形成するため、土地利用の高度化と地域商業圏の拡大を図る。 ・土地区画整理事業の清算金交付・徴収事務を行う。									
			尹杰いル」に呼いて用弁並又刊・取収争が及び退給の推修工事を行う。							該年度	・国道、県道を	千葉県に引き継	ぐため舗装等	が老朽化した道路	の補修工事を	行う。				
(3) 事業内容		内容								行計画										
(2) / 200.72											清算金徴収率					想定值	90			
									該年度 油無指標	/// / / / / / / / / / / / / / / / / /				91						
(4)達成目標(期待する成果)				達成目	標(期待する成果)			指	標種類		Ŧ	重 標	(6)目標値						
当該年度		清算事務の実施								直接 清算金徵収率 96							9			
令和 3年月	ŧ	清算事務の実施								直接	清算金徴収率				%		9			
令和 4年月	Ę	清算事務の実施								直接	清算金徴収率				%		9			
(7)事業実施上の課題と対応		清算金の交付及び	徴収、分割納	付希望者な	じ適切に対応す	る必要がある。			代者	替案検討	07	O有 ●無								
			平成31年	在 使			令和 2年度				- 会和	1 3年度			今和	4年度				
		政	内 容	T/Q	金額(千円)	政 内 容	月和 2千及	予算額(千円) 決	算額(千円)	政	内 容		金額(千円)) 政	内容		金額(千円)			
		報酬 (審議会委	委員)		70	策:		15		旅費(普通、研修旅費)		1	策: 15 旅費 (普通	1、研修旅費)		15			
		報酬(評価員) 臨時職員人件費			21 977			264 302			(消耗品、燃料費他) (通信運搬、手数料)				∮耗品、燃料費 ₫信運搬、手数		264 302			
	実施内容	旅費 : 需用費 (消耗品	品、燃料費他)		18 390		費	660 200												
		役務費(通信週 委託料(草刈、	፱搬、手数料、	. 保険料)	301 1, 202	公課費		25		[清算金 土地区	注事務] 画整理事業清算金	徴収事務		[清算金事 0 土地区画整	務] ^{逐理事業清算金}					
(0) t+ (= -)		事務機器使用料 道路維持管理で	4		19)														
(8)施行事項		[換地処分事務]			250	* 我孫子駅前土地区画整理事業清算交付金 261,783 * 我孫子駅前土地区画整理事業清算徵収金 2,709											1			
		*:換地計画書作成 *:継続費(平成2	艾及び換地処タ		Ĭŧ 14, 829												1			
		*:広告料(官報提 *:通信運搬費(拷	曷載料)		59 626		平物脉坦ជ無咳	10, 997												
		* 仮換地変更指定		<i>ਚ</i> /	650															
			=1		10.000			284, 955			A =1		F.		A =1					
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	計	0 %	19, 362	補助率	0 %	0		補助率	合 計	0 %		0 補助率	合 計	0 %	581 C			
(9) 財源内訳	県支出金 起債	補助率 充当率		0 %	0	充当率	0 %	0		補助率 充当率		0 %		0 補助率 0 充当率		0 % 0 %	0			
(-),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	一般財源 その他の財源	□特会 □受拍	益 口基金 口	その他	19, 362	□特会 □受益 □基金	■その他	36, 263 248, 692		□特会	会 口受益 口基金	■その他	△4, 65 5, 23	35 □特会[□受益 □基金	■その他	△4, 654 5, 235			
(10) 人件費等	換算人数(人) 正職員人件費				1. 75 15, 400)		1. 75 15, 225					1. ī 15, 22	25			1. 75 15, 225			
	鴻託職員報酬額 臨時職員賃金額				0			0						0			0			
事業費(予算(決 (11) 単位費用	算)額+正職員人件費)		34, 762 ∓ F	m /#	34, 762		3千円/%	300, 180					15, 80	06	_		15, 806			
	/活動結果指標))評価 (DO+CHECK	<u> </u>	34, 702 1	12 IT		0,000.0	3 1) 70													
	平価項目	, 			*	前 評 価					東 後 瓢	压 /部压结用 /-	たい 北美安	P 수 타 / 반 ᄎ + ᄉ +	s))		改善検討			
-	TIM 块口	我孫子駅前(南口))は、JR常	磐線、成田		ッ எ ლ に位置し、東京都心部への通勤	カ圏であるため,	人口密集度も高く	○①事前確認での想定どおり											
(1)事業が今必要である理由・						いるが、家屋が未整備な在来往 化と公共施設の整備改善、健全			〇②事前確	〇〇字前確認での想定とおりでなかった 〇〇字前確認での想定とおりでなかった										
背景(は?(事業の必要性)	ることが必要であ	る。						<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>											
		●①民間企業、N	団体等では	実施できない	<その他の内容>		□①民間企	業、NPO	、市民団体等では	実施できなかっ	た <市実施	の具体的な内容・	必要性の理由	>						
必		(理由) □法令等 ■提供主	で市が実施す 体が市しかな		められている				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層											
要性 (2) 市が3		口その他					促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した													
あるが		○②自治体である (理由) □市が主			の対性が得られる	<その他の内容> [ス水準が確							〇要 〇不要			
(市実施の必要性)		口市が実施		ことにより	、良質で安定し				□⑦その他	1		,,,_					- 0.1.2			
		口市が支	援することに		施策の目標の					71 11 7										
		実現が									動の具体的な内容	(▽け今後								
		○①事業計畫時 1-	参加・協働			工夫の	具体的な内容				動の具体的な内容 えられる場合には		00.4		働の程度・内	容				
参 ha		○①事業計画時に ○②事業実施時に	こ市民の参画有	有り									0②当	○①当初期待した以上○②当初期待したとおり○③当初の期待以下						
: 市民の参	加や市民との協働を いるか?	○③管理・運営に ○④市民の自主的	りな活動と連携											〇③当初の期待以下 						
働 (体制づ のエ 夫		○⑤市民と共同で ●⑥その他	で事業を実施										<期待 l	た以上となった理	閏由/期待以下	であった原因>	〇不要			
 		<その他の内容>																		
		土地区画整理法に基づき、土地区画整理審議会を設置し、意見を聞く旨定められている。												om i.b.						
		□①自然環境を生	配慮の	視点		取	取組む内容				実施した具体的な内容				環境への配慮 ○①想定どおり					
環		□□□自然環境を生 □②生き物と共存 □③手賀沼を意識	すしている											定どおりでなかっ [。]	t=					
境への 環境に配 いるか?	慮して事業を進めて	□④環境負荷低源		いる									<想定と	だおりでなかった原	(因)		 ○ 要 ○ 不要			
配慮		■⑤その他				1											○ 小要			
(1)目標設	定は適切か?	現況値(a)(%)	目標値(b)) (%)		目標値の妥当性のチェ	ニック			達成状況		〇①目標値達成								
						マ・事実に基づき設定している ミ現性が乏しい値ではない			実績値(f)(%)		達成率(%) (f/b×100)	〇②目標値未過		tt L.A. + T.			O要			
in 1985		0	95		コ③現況値との差	Éが小さい値ではない						<目標を達成した理		: 水となった原因>			〇不要			
		が本中をにし	- 乙重要典率		同等の水準で	である		E/C		実施状況		○①想定事業券	骨未満	未业	母の当年七年	ーついて				
		対束実施によ 事業費(c)(千円)	よる事業費削減 事業費削減額(d) (エロ)		□①国・県助成制	削度活用 □⑤			実績値(g)(エ 田) 対	対事業費(%)	○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○①事前の想						
効 (2) 事業	- 削減の工夫をして ? -	(十円) ■②現有1								(11)	(g/c) × 100	- シ心化尹未5	~ ~= #E		定どおりでな;		O要			
_軽 (2)事業費 いるか 生		300, 180 △265, 418 □④民間委託 事業費削減率(%) <削減の内容>							<超過理由等	3過理由等>				<想定どおり削減できなかった原因>						
II.				ì	• •												〇不要			
		△763. 53																		
(3)目標(を実現する為に	目標値対事業費(e) 計算方法								達成状況 〇①目標値以上 <目標値以上となった理由/目 〇②目標値と同程度					理由/目標値.	以下であった原[
投じる	る事業費は適正か? 対費用)	0. 03	12 2012			○①単年度の指標:目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標:(目標値-現況値)×費用単位/事業費				対目標値(%) (h/e)×100	〇③目標値以7					〇要 〇不要				
יתן בו		<u> </u>		%	10万円															
3. 事後記																				
〇現状どお	り推進 〇拡充	〇縮小	〇結合	〇休止 評価コメ		〇事業手法見直し 〇その	他(事業完了な	<u></u>				小羊鱼	き及び展開方向	— —						
評				ТШПУ	71							以晋才	、从 い 成 刑 刀 🏻							
価																				

様式第3号 —————————————————————					事務事 ———	業評価表 ————	(令和 2	(牛皮)										
事業コード	2253		課コード		0705		会計種別	一般会計				予算の	種類 ■	Ⅰ政策	□経常	□なし		
1. 事業の概要(PLAN)																		
	①事業名	基本事業						実施計画へ		〇有	● 無	2	部課名	都市部・市	街地整備課			
	③事業主体	個別事業 宅地耐震化推進事業 ●市 ○その他(位置づけ ④対象地区		□ □ 我孫子 □ □ 天王台 □ □ 湖北		胡北			■全市			
(4) == alle log ==	⑤事業期間	●市 ○ ○ その他 (令和 2年度 ~						⑥担当職員数		4人			(換算人数 0.35 人)					
(1)事業概要	⑦事業費	総事業費 0 千円						当該(開始)4	E度 ———	(当 初) 13,708 千円								
	(人件費含む)								(変更後	(変更後)			(うち人件費					
	⑧施策の位置づけ	. 施策 コード	70101		重点プロジェクト への位置づけ	重点:	3	基本計画地図 計画への位置		〇有	●無	i	部門別計画への 位置づけ	(計画名)				
(2)目的	施策目的・		害を軽減するため、防 行うとともに、自主防										子を軽減するため き及び対策工事等		間査を行い住民へ	への情報提供等る		
(Z) E # 13	展開方向		を図ります。また、避					図るとともに、必要な際には防災区域の指定等及び対策工事等を行う。 ・令和元年度に国が作成した第一次スクリーニング結果をもとに、基礎資料の整理、現地踏						*本 原生帝冠				
		・第一次スク	☞重 クリーニング(大規模: 市が公表する。	盛土造成地マップの	作成、宅地カルテ	の作成)を国が実施	し、大規模造成	当該年度	を実施				- ファ和末をもと 国及び宅地カルテ			自直、後元及計		
(2) 東米中南		・第一次スク	クリーニングにより抽		た大規模盛土造成地を、計画的かつ効率的に第二次スクリーニング 基礎資料の整理、現地踏査、優先度評価)を作成する。													
(3)事業内容	内 容	・第二次スク	クリーニング計画に基	づき、第二次スクリ	第二次スクリーニング(地盤調査、安定計算)を行い、滑動崩落の				//r = > -		L = 0.1							
		・第二次スク		崩落のおそれのある	Dおそれのあると評価した大規模盛土造成地においては、居住者やそ			当該年度 活動結果指		スクリーニング	/計画及ひ宅地	カルナの作	単位 % -			定値 10 装値		
(4)達成目標(期待する成果)		一の他の影響を	<u>を判断し、必要な際に</u> 達/	<u>は防災区域の指定等</u> 成目標(期待する成果				指標種類			指	標		単位	1	(6)目標値		
当該年度	第二次スクリーニ	ング計画及び	宅地カルテの作成する	,					第二次	スクリーニング	が計画及び宅地	カルテの作	F成の達成率	%	0	100		
令和 3年度	第二次スクリーニ それがある大規模		づき、優先度の高い所 地出する	から第二次スクリー	·ニング(地盤調査	、滑動崩落のお	直接	第二次	スクリーニング	が調査率 (調査	件数/抽出	件数)	%		10			
令和 4年度	第二次スクリーニ	ング計画に基	づき、優先度の高い所	から第二次スクリー	·ニング(地盤調査	、滑動崩落のお	直接	第二次	スクリーニング	が調査率(調査	件数/抽出	件数)	%		20			
(7) 古光中佐しの部取しせた		ング計画の作用	成のためには現地踏査			ч.	0.											
(7)事業実施上の課題と対応	の作業及びぞれ以		、説明会等で住民の理	罪と協刀を氷のる ∟			心か必要となる	代替案検記	ন	〇有								
	Thr:	平成31年		Tibr		令和 2年度	() \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	T/ Th:		令和 3年度	` 	± (= =)	Tute:		口 4年度			
	策	内 容	金額(千	策	内 容 フリーニング計画作		(千円) 決算額	策	「二次スクリー	マーング計画の約		額(千円)	政 策 *:第二次スク	カ を	ļ.	金額(千円)		
				* 第一次スク	フリーニングの情幸	设提供	10, 003	↑ · #	二次ヘクリー-	ーング計画の利			*: 第二次スク		O情報提供	10,000		
				*・ポーダ人ン	クリーニング計画 <i>0</i>	バロ では												
実施内容																		
(8)施行事項 費 用																		
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,																		
予算(決算)額	<u> </u>	合 計		0	合 計		10, 663	i	合	計		0		合 計		10, 000		
国庫支出金 県支出金	補助率補助率		0 %	0 補助率 0 補助率		50 % 0 %	5, 331		カ率 カ率		%	0	11.0 12 1		0 %	(
(9) 財源内訳 起債 一般財源	充当率		0 %	0 充当率		0 %	0 5, 332	充計	当率	C	%	0	/		0 %	10,000		
その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受	益 口基金 口名	その他		□受益 □基金 □	その他	0 0.35		□特会 □受益	□基金 □そ	の他	0. 35	□特会□	〕受益 □基金	〕□その他	0. 35		
(10) 人 供费等 正職員人件費				0			3, 045					3, 045				3, 045		
鳴 計 順 員 取 断 額 臨 時 職 員 賃 金 額				0			0					0				(
事業費(予算(決算)額+正職員人件費 (11)単位費用)	0千円/ *	* *	0	137. 08千F		13, 708					3, 045				13, 045		
(事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価(D0+CHEC	K)	91132			107.00 1	,, ,c												
評価項目				動 評 価					車 :	各 評 <i>(</i> 雷 ()	亜価純甲に広じ	小美安 坎	会討 (拡充も含む	.))		改善検討		
	近年、地震による	宅地被害が多	────────────────────────────────────		地マップの公表や	安全性の調査を推進	している 〇	①事前確認での		区 町 川川 (日	T岡和末に心し	、以音末1				以古代的		
(1)事業が今必要である理由					早急な事前対策が必要なため、すべての盛土造成地の造成年 ○② ですることを目標としている。 ○② ○ (表別)				〇②事前確認での想定とおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>									
背景は?(事業の必要性)																		
	●①民間企業。N	NPO 市民団	体等では実施できなし	くその他の見					PO. 市民団	市民団体等では実施できなかった 「<市実施の具				的な内容・必要性の理由>				
必	(理由) ■法令等		ることが定められてい						□②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層									
要	口その他		•						促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した									
性 (2)市が実施する必要性は あるか?	〇②自治体である				<<000				口⑤サービス水準が確保された 口⑥サービスの安定供給基盤が確保された									
(市実施の必要性)	口市が実	施・提供する	とにより実効性が得ら ことにより、良質で安						ロ回りーこへの女定性和整強が唯体でもた。 ロラその他 その他の内容>							〇不要		
	口市が支		る より政策・施策の目標	מ														
	実現が □その他	図られる							14 12	54 . ± ± ·								
		参加・協働			工夫の具体的な内容				・協働の具体的 が考えられる均					働の程度・内	容			
参加	〇①事業計画時(〇②事業実施時(こ市民の参画有	i り								〇②当初	期待した以上 期待したとおり						
加 ・ 市民の参加や市民との協働を協力である。	○③管理·運営!	こ市民の参画有	ī U									○○③当初の期待以下						
協 工夫しているか? (体制づくり) 工夫	○⑤市民と共同で ●⑥その他		. =						<期待した以上となった理由/			由/期待以	下であった原因〉	O要 > O不要				
工 夫	────────────────────────────────────																	
	対象なし																	
		配慮の礼	現点		取組も	內容			実施した具体的	りな内容				危への配慮				
環	□①自然環境を生 □②生き物と共存										①想定どおり ②想定どおりでなかった							
境 境 環境に配慮して事業を進めて	口②手賀辺太音器	能している	いる								-		らりでなかった原			〇要		
境 環境に配慮して事業を進めているか? いるか?	■⑤その他		-										SA 21-17	.=-		〇不要		
慮		 <その他の内容>																
	対象なし		(4)						N 16 N=	1.00	日播庆学士							
	現況値(a)(%)	目標値(b)	11.17	目標値 データ・事実に基づ	の妥当性のチェッ びき設定している	2			状況 ■ 達成率(9		目標值達成 目標値未達成							
(1)目標設定は適切か?	0	100	□②現況値と	ルベ実現性が乏しい の差が小さい値では	^値ではない		— —	E績値(f)(%)	(f/b×10	0)	薬を達成した理	由/未達瓦	はとなった原因>			O要 O不要		
			□④適当な比			-る目標値(と現況値)	の差) と											
	対策実施によ	対策実施による事業費削減			実施予定の対策				L 题状況				井川内					
効	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d) (千円) ■①国・県助成制度 □②現有体制での対			度活用 □⑤PFⅠ等民間資本の活用			責値(g)(千円)				○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		● 単来質の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった				
率 (2)事業費削減の工夫をして	13, 708			費の削減策の実施												O要		
性 いるか?	事業費肖	削減率(%)	<削減の内容	>	のところ、令和2年度までは国費率1/2に嵩上げ					I			<想定どおり削減できなかった原因>			〇不要		
		_	一一一一一	oveeo, n														
			# (-)		± 佐七 泮				tute on			/ 🗆 🗷	傾いトレか エ	呷由 ✓□坪≒	1以下で生 - 土 四	im>		
(3)目標値を実現する為に		目標値対事業	費(e) 単位 費用単位	●①単年度の指	計算方 f標:目標値×費用				対目標値(02	目標値以上 目標値と同程度 日標値以下		[値以上となった	吐出/ 日標値	1以 r じめつた原	· (因)		
投じる事業費は適正か? (目標対費用)	7.3					平位/ 事来員 現況値)×費用単位/	事業費	実績値(h)	(h/e) × 1		目標値以下					〇不要		
			% 100万円															
		O 4+ ^	O#.I:	O =		市 # 宀 - ・ ・												
3. 事後評価 〇現状どおり推進 〇拡充	〇縮小	〇結合(〇休止 〇廃止 評価コメント	〇事業手法見直	し 〇その他(事業完了など)					改善策及び	·展開方向						
評	○縮小	〇結合 (○事業手法見直	し 〇その他(事業完了など)					改善策及び	(展開方向						
○現状どおり推進 ○拡充	○縮小	〇結合 (○事業手法見直	し Oその他(事業完了など)					改善策及0	《展開方向						